

競技注意事項

1 規則について

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項によって実施する。

2 競技者受付と競技者インフォメーション（TIC）について

- ① 競技会に対する問い合わせ及び申し出の窓口として、競技者インフォメーション（TIC）を設置する。設置場所は、第1日（上柚木競技場）・第2日（夢の島競技場）ともに競技場エントランスとする。
- ② 競技者受付は競技者インフォメーション（TIC）にて行う。その際、ナンバーカードとともにプログラムを配付する。
- ③ プログラムに訂正箇所（氏名、フリガナ、学年、所属等）のある場合には、遅くとも出場する競技の90分前までに競技者インフォメーション（TIC）に申し出ること。正式結果発表後の訂正（賞状及び記録証の訂正を含む）には、一切応じない。
- ④ プログラムは、残部がある場合に限り、9時30分より競技者インフォメーション（TIC）にて500円で販売する。
- ⑤ 記録証は1部300円で発行する。希望者は各日15:00までに競技者インフォメーション（TIC）に申し出ること。なお、4×100mリレーの記録証は当日発行しない。

3 ナンバーカードについて

- ① ナンバーカードは主催者が用意する。
- ② ナンバーカードは配付されたままの大きさで、胸・背の四隅をしっかりと止めること。跳躍競技に出場する選手は胸・背のどちらか片方だけでもよい。
- ③ トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識をランニングパンツの右側上部、やや後ろに付けること。リレー競技の場合はアンカーのみが付ける。なお、腰ナンバー標識は競技終了の都度、速やかに外しフィニッシュ付近で競技役員に返却すること。

4 練習について

- ① トラック競技の練習は第1日・第2日ともに9時20分までトラック全周を使用してよい。但し、ハードルが設置されるレーンに注意すること。9時20分以後は競技役員の指示に従ってバックストレートで練習することができる。
- ② ハードルの練習については以下の通りとする。

	種別	設置レーン	場所	時間
第1日 9月8日（土）	共通男子 110mJH	7・8レーン	ホームストレート	8:30～9:20
	2年男子 110mH	5・6レーン		
第2日 9月9日（日）	1年男子 100mH	8レーン		
	3年女子 100mYH	6・7レーン		
	1・2年女子 100mH	4・5レーン		

- ③ フィールド競技の練習は競技開始前に各競技実施場所で競技役員の指示に従って行うこと。
- ④ 走幅跳の練習は、第1日・第2日ともに8時30分から9時20分までホームストレートのピットで練習することができる。

5 招集について

- ① 競技者招集は、100mスタート後方付近で行う。なお、代理人によるものは認めない。
- ② 各種目の招集開始・完了時刻は、競技日程に記載する。なお、招集完了時刻に遅れた者は、競技に参加しないものとして取り扱う。
- ③ 棒高跳の招集は競技実施場所で行う。
- ④ リレーのオーダー用紙は招集所に用意する。オーダーを記入して競技日程記載の提出締切時刻までに競技者係（招集所）に提出すること。また、決勝では予選とは別に、改めてオーダー用紙を提出すること。

6 競技について

- ① 本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以下とする。
- ② トラック競技の走路順・フィールド競技の試技順はプログラムに示した順とする。なお、共通男子・共通女子円盤投の試技順は、共通男子、共通女子円盤投の順で行うものとする。
- ③ トラック競技で棄権者があるときは、そのレーンをあける。また、予選において招集完了時刻をもって出場者が9名未満となった場合には予選は行わず、改めて番組編成を行い競技日程に決勝として記載された時刻に決勝を行う。
- ④ トラック競技の準決勝・決勝進出者（チーム）を決定する際、同記録がありレーンが不足するときには、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合には、当該の競技者または代理人による抽選により決定する。
- ⑤ セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- ⑥ 800mのスタートはセパレートで行うが、1つのレーンに2名の競技者が入る場合がある。
- ⑦ 3000mはグループスタートで行う。
- ⑧ リレーのメンバー変更については、競技規則170条10を適用するが、他のリレー競技にエントリーしている者及び他のリレー競技に出場した者を起用することはできない（例、共通4×100mリレーにおいて「2年4×100mリレー」にエントリーしている者及び出場した者を起用することはできない）。
- ⑨ リレー競技においては、各チームで同一のユニフォームを着用すること。
- ⑩ リレー競技のマーカーの使用は1ヶ所とする。マーカーは40cm以下のものを各チームで用意し、レース終了後に必ず自チームで撤去すること。
- ⑪ 競技（練習）で使用する用器具は競技場備え付けのものに限る。但し、棒高跳用ポールは除く。
- ⑫ ハードルは次の規格で行う。

区分	ハードル間	高さ	区分	ハードル間	高さ
3年男子	9.14m	0.991m	3年女子	8.50m	0.762m
2年男子	9.14m	0.914m	2年女子	8.00m	0.762m
1年男子	8.50m	0.838m	1年女子	8.00m	0.762m

- ⑬ 投てき用器具の重量は次の通りとする。

区分	種目	重量	区分	種目	重量
3年男子	砲丸投	5.000kg	3年女子	砲丸投	4.000kg
2年男子	砲丸投	4.000kg	2年女子	砲丸投	2.721kg
1年男子	砲丸投	4.000kg	1年女子	砲丸投	2.721kg
共通男子	円盤投	1.500kg	共通女子	円盤投	1.000kg

- ⑭ 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	競技
3年男子	1m50 1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする
2年男子	1m35 1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする
3年女子	1m30 1m50	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする
2年女子	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする

- ⑮ 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後最後の1人になるまで 10cm 刻みとする
	2m40 3m40	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	
女子	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後最後の1人になるまで 10cm 刻みとする
	任意の 高さ	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	

- ⑯ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。
- ⑰ グラウンド内（スタンド下ダックアウトを含む）は、原則として全て競技区域とする。ただし、第1曲走路からバックストレートを経て第2曲走路までのトラックの外側はセーフティコーンで区画し、その外側をコーチ席とする。従って、コーチ席を除くグラウンド内（スタンド下ダックアウトを含む）からの競技中の助言（指導）は、審判長による警告（イエローカード）及び除外（レッドカード）の対象となる。競技中の助言（指導）は、コーチ席または競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- ⑱ ジャベリックスローに適用される競技規則は、やり投の競技規則に準ずる。投げ方に関しては競技規則第193条第1項（a）を次のように読み替える。

ジャベリックは片手で胴体の部分を握らなければならない。ジャベリックは肩または投げ方の腕の上で投げなければならない。振り回して投げてはならない。上記以外の投げ方は認められない。

7 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議を行う場合は、その種目の競技結果がアナウンスにより正式発表されてから30分以内にチームの公式な代表者が競技者インフォメーション（T I C）に申し出ること。なお、同一日に次のラウンドが行われる競技についてはその種目の競技結果の正式発表から15分以内に申し出ること。

8 表彰について

- ① 各種目1位より8位までの入賞者に賞状を授与する。
- ② 各種目1位より3位までの入賞者は表彰を行うので、競技役員の指示に従い、正面スタンド下表彰席に集合すること。
- ③ 各種目4位より8位までの入賞者は競技者インフォメーション（T I C）で賞状を受け取ること。

9 その他

- ① 競技者、競技役員及び大会総務から許可を受けた者以外の競技区域への立ち入りは、競技運営に支障をきたす恐れがあるため禁止する。
- ② 申込み後の種目の変更は認めない。
- ③ スタンドでの盗難・置き引きには各自が十分に注意すること。主催者は一切の責任を負わない。
- ④ 傷害・紛失・その他の事故やトラブルについて、応急処置を除き主催者は一切の責任を負わない。
- ⑤ 開場時刻は第1日・第2日ともに8時00分とし、入場口は100mスタート後方ゲートとする。なお、場所取り等に関して主催者は関知せず、トラブル等が起こった場合にも一切の責任を負わない。
- ⑥ 各競技実施場所への入場は必ず競技者係の誘導に従うこと。
- ⑦ 場内における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ⑧ 本部前は通行禁止とする。また、セーフティコーン設置場所には立ち入らないこと。
- ⑨ 更衣室は使用禁止とする。各自更衣を済ませてくること。
- ⑩ 各自が出したゴミは必ず各自で持ち帰ること。
- ⑪ 競技場内の整備に努め、帰るときは自席周辺の清掃を行うこと。
- ⑫ 届けられた遺失物については、競技者インフォメーション（T I C）にて競技会終了時まで保管する。
- ⑬ その他不明な点は競技者インフォメーション（T I C）に問い合わせること。